

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	高度建築生産	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	長島茂	実務経験の有無・職種	有・構造設計		
学習目的					
<p>これまで学習してきた建築生産より一歩進んだ技術と、これからの技術を意識した持続的な知識を身に付け、社会において活用できる基礎能力を習得することだけでなく、法律や倫理においても学習し業界で生きる人材として必要な知識の習得を目指す。一級建築士を意識した力を身に付けると共に、未来を建築生産の側面からも思考できることを学習の目標とする。</p>					
到達目標					
<p>これまで学んだ建築生産の知識を確認した上で、より高度な生産知識を得る事を学習の目標とし、次の3点を到達目標とする。</p> <p>①実務における施工業務の内容を理解する。</p> <p>②起こり得る事故や、クレームを理解し、対応方法を考える事ができる。</p> <p>③欠陥や瑕疵について理解し、事例の知識と対応方法を理解する。</p>					
教育方法等					
授業概要	既に学んでいる建築生産各プロセスをふまえた上で建築生産システムの総合的な関連性を学び、我が国における建築生産の現状を実践的に理解する。				
注意点	これまでに学んだ建築生産の延長線上にある授業であるためその理解と復習を意識して望むこと。欠席しないことを心掛け、授業時間数4分の3以上出席しない者は、定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得を守ること。				
評価方法	種別	割合	備考		
	期末試験	70%	試験により学習内容を総合的に確認評価する		
	レポート	10%	提出レポートの内容を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認し評価する		
	平常展	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	建築生産システム概論①	プロセスと仕組みを理解する			
2回	建築生産システム概論②	役割と業務内容について全体像をふまえて理解する			
3回	建築生産システム各論①	各プロセス、入札業務について理解する			
4回	建築生産システム各論②	施工、維持管理他各段階での業務について理解する			
5回	施工管理計画と実践①	施工計画の実践とその計画方法について理解する			
6回	施工管理計画と実践②	施工計画の実践とその応用方法について理解する			
7回	施工管理計画と実践③	施工図とその管理方法、その実践について理解する			
8回	施工管理計画と実践④	施工図とその管理方法、その応用について理解する			
9回	建築工事のクレーム①	事故等の対応とその防止法について理解する			
10回	建築工事のクレーム②	近隣地域等への対応について理解する			
11回	建築生産に関わる法律と制度①	建築生産に関わる法律の構成を理解する			
12回	建築生産に関わる法律と制度②	建築生産に関わる法律の適用事例を理解する			
13回	建築生産と倫理①	欠陥工事、耐震偽装等社会の情勢について理解する			
14回	建築生産と倫理②	特許使用について理解する			
15回	これからの建築生産	Iコンストラクションについて理解する			